

毛糸のおっぱいプロジェクト ニューズレター

2011年8月～2012年4月の活動報告

2012年5月発行

事務局 とも子助産院

仙台市泉区野村字野村95-6

022-772-5960

まず始めに、このプロジェクトをご支援・ご賛同下さいました全国の皆様に心よりお礼申し上げます。
皆様にここに活動報告できること、心より感謝致します。

東日本大震災が起き、日本中の皆がそうであったように、私も被災地に行って何かお手伝いしたいと思っていた一人でした。しかし私は当時妊娠8か月。身動きの取れない自分にできる支援ってなんだろう、復興ってなんだろうと悶々と考える日々でした。

2011年5月、毛糸のおっぱいプロジェクトの事務局でもある、とも子助産院にて、無事二男を出産。未来を担う子供たちを元気に育てることこそが、自分にできる、自分にしかできない復興なんだな、と思うようになりました。

そんな折、助産師である伊藤朋子さんから、この『毛糸のおっぱいプロジェクト』の話を聞き、私は二つ返事で代表を受けることにしました。

被災地の支援だけでなく、母乳育児普及の手助けになる、おばあちゃんたちから新しい命につながっていくプロジェクト！

資金もノウハウもゼロからのスタート。プロジェクトに関わる人がママ＆助産師という、人手と時間の不足。さらに毛糸や綿の材料の調達、そして毛糸のおっぱいを買ってくださる方・販路を探すことが何よりの課題でした。当初は途方もなく困難に思えた道のりでしたが、全国からの温かいご支援によりたくさんの毛糸をご寄附頂き、また全国各地の方に、毛糸のおっぱい「あむあむおっぱい」をご購入頂くことで、なんとかプロジェクトを軌道に乗せることが出来ました。



2011.11/23 男女共同参画推進せんだいフォーラム 2011 にて
プロジェクトの説明をする北原代表と伊藤助産師

何よりも編み手のおばあちゃんたちが笑い合っ、楽しみながら編んでいるのを見たときは、プロジェクトを企画して本当に良かったな、と心から思いました。被災地を支援、とは言ったものの、実は私自身がおばあちゃんたちの笑顔に励まされ、ご賛同頂いた全国の方から大きなパワーを頂くこととなりました。

今後は皆様から頂いた温かいお気持ちを励みに、より一層素敵なあむあむおっぱいを多くの方へ届けられるよう、おばあちゃんたちと頑張って参りたいと思います。そしてそのパワーをもらって、私自身イキイキと楽しく子育てしていきたいと思っています。

今後ともご支援賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

毛糸のおっぱいプロジェクト 代表 北原郁恵

ご寄付いただいた毛糸は、あむあむおっぱいの材料として使わせていただいた他、ジョネットサロン、名取市の仮設住宅の編み物サークル、NPO 法人イコールネット仙台を通じて、仙台市・名取市・気仙沼市の仮設住宅の編み物サークルへお届けしました。どこでも、とても喜ばれました。感謝します。

日本 BPW 連合会（ビジネス・プロフェッショナル・ウーマン）の第1回《女たちの、女たちによる仕事づくり》支援金として、被災した海苔加工会社や、ママたちが立ち上げたジャム工房と共に、30万円の運営資金を頂戴することもできました。

おかげで材料の毛糸や綿・カセクリ機・糸巻き機・毛糸用洗剤などが買えました。通販サイトも立ち上げることができました。

人を助けることは、自分を助ける一番の魔法。何か助けになりたくて始めた事なのですが、震災後のザワザワした気持ちを、気仙沼のおばあちゃんたちとのやり取りで癒され、仙台にいる私たちも救われているように感じます。慣れない素人商売で、お叱りを受けることも多々ありますが、震災でその価値が再評価された母乳育児を広める一助になるように、編み手さんたちと頑張っていきたいと思っています。

毛糸のおっぱいプロジェクト事務局

とも子助産院 伊藤朋子



- 2011年8月 みやぎジョネットのサロンを通して、気仙沼の編み手さんたちと出会う。
子育てママと助産師有志による「毛糸のおっぱいプロジェクト」始動
- 9月 商品名を「あむあむ OPPI」として販売開始。
- 12月 ホームページを立ち上げ、インターネット経由での注文受付開始。
- 2012年1月 日本BPW（ビジネス・プロフェッショナル・ウーマン）より事業助成金を授与。
- 1月 新製品、持ち運びに便利なミニおっぱい登場。
- 3月 スタッフの転勤や結婚による異動あり。新体制となってこれからも活動を続けてまいります。



気仙沼の集会所にて

ご紹介いただいたメディア

<新聞、情報紙>

河北新報朝刊 (2011年12月6日)
北海道新聞朝刊 (2012年1月8日)
朝日新聞朝刊 (2012年3月30日)
河北ウィークリーせんだい
(2011年12月22日)

<月刊誌>

AERAwithBaby (2012年4月号)
ペリネイタルケア

<TV>

NHK「東北情報パレット」



日本BPW 事業助成金授与式より



石巻で被災し仙台へ避難中の女性が
タグ付けを担当しています



毛糸のご支援ありがとうございます

イベント、学習会などでの販売、PR

(※主なもののみ掲載)

- 2011年10月16日 埼玉県助産師会
- 10月23日 第17回母乳育児支援を学ぶ千葉教室
- 11月5,6日 JALC ファシリテータ研修会 in 横浜
- 11月13日 母乳育児支援を学ぶ東海教室 in 名古屋
- 11月20日 母乳育児支援を学ぶ北陸教室 in 新潟
- 11月23日 栃木県助産師会
- 11月23日 男女共同参画推進せんだいフォーラム 2011
- 2012年1月22日 第31回母乳育児学習会 (東京・砂防会館)
- 1月28日 ワコール乳房文化研究会 (京都)
- 2月10,11日 全国助産師教育協議会 (東京)
- 2月19日 おとのわ (アートイベント)
- 2月25,26日 第9回IBCLCのための母乳育児カンファレンス (名古屋)
- 4月7日 あ♪のねの会 (マタニティコンサート)
- 5月1,2日 第26回日本助産学会学術集会 (札幌)



ブース販売準備中

2012年3月末までで

1182個のあむあむoppiを
お買い上げいただきました！

(内ミニoppi 101個)

「おっぴ様」「おっぴさん」は「そう祖母」のことなので、
編み手さんたちはもっと若いのだけれど、
親しみをこめて呼ばせていただきますね。

気仙沼のおっぴ様方へ
あむあむおっぴはこの手からうまれていきます。



事業開始当初は暗い色使いが多かったのですが、
最近は多色使いの明るい色の作品が増えてきました。
編み手のおっぴ様たちの気持ちが反映されているようです。

発足当初は、同じ避難所におられた高齢者の皆さんでしたが、現在は別々の
仮設住宅に入居されており、みんなが集まって作業するというこも
なくなっていました。世話役となってくださっている T さんが、
毛糸を配ったり、宅配の手配をしたり仲介役をして下さっています。

皆さん編み物大好きなだけあって、どんどんおっぴが編み上がってきます。
「同じのばかりだと飽きちゃうから・・・」とバラのモチーフや、袋、マフラーや足力バーなども作ってくださいます。
手に入れた方はラッキーですよ！

このお正月、編み手さんたちは、「仮設だからいつものお年越しはできなかったけど、孫やひ孫にお年玉をあげることが
できた。」と喜んでいました。「何もしていないと怖いことを考たり、1 日が長く感じられてしまうけど、手を動かして
いると無心になれて時間が過ぎるのが早く感じる。」「トイレの工事ができた。」「外壁修理の足しになった。震災の後、
建築資材がなんでも値上がりしてしまい、先立つものがないから家の 2 面分しか直せなかったけど、おっぴのアルバ
イトのおかげで、助かった。」と言って下さいました。サポートしているメンバーも、その声を聞いてホッとしました。



新製品「あむあむちゃん」開発中！乞うご期待！
（写真は名取市の元手芸店店主さんたち
試作品を作成してくれています）



ご購入いただいた方から、おっぴさまへのメッセージ

たくさんのメッセージをいただいております。一部を紹介させていただきます。



心のこもった温かいおっぴありがとうございます。
埼玉県で毎日おっぴママ達を応援しています。
この毛糸のおっぴをバッグに入れて活用させていただきます。^^
これから寒くなりますがどうぞお身体を大事にして下さい。

実は私も3月まで気仙沼に住んでいて被災しました。父を亡くし、大変な中、夢を叶えるため上京しました。気仙沼の事を想いながら、この乳房模型を使って、立派な助産師になるように頑張りたいと思います。(東京の助産師学院の学生さん)

こんにちは。
今回の大震災で心身ともに大変で、ご苦勞な日々をお過ごしのことでしょう。
そのような中で皆様の前向きに、懸命に生きていらっしゃる姿に頭がさがります。
また今回は皆様の気持ちが伝わってくるような、あたたかなおっぴ模型。
小さな生命の成長を願い活用させていただきます。
寒い季節にむかっていますがお元気で過ごして下さいませ。

この度は、素敵な毛糸のおっぴを作ってくださいありがとうございます。
大変な中、作ってくださったこのおっぴ、大切にします。
これからの助産師人生の相棒にし、地域の妊婦さん、赤ちゃん、お母さんの未来のために役立てたいと思います。
私も頑張ります。

研修会で、おばあちゃんのおっぴを買いました。
丁寧に編んであってさわりごちがホッとしますネ。
お母さんの指導のときにつかおうかと思ひます。
ご不便もあるかと思いますが、体に気をつけて元気で過ごして下さいませ。

「あたたかいおっぴ」受け取りました(^-^)
私は2児の母で総合病院で助産師をしています。自分でも母乳育児を経験し、たくさんのお母さんへ少しでも楽しくおっぴをあげてほしいという思いで仕事をしています。
この毛糸のおっぴは職場でお母さん達に説明する時に使わせてもらおうと思っています。大切に使います。きっと大活躍すると思います。作ってくれてありがとうございます。

委託販売

あむあむおっぴを販売しませんか？

1回につき30個以上預かっていただき、売れ残りは着払いで返品いただく方式。
売り上げの20%を委託料としてお支払いいたします。
イベント、学習会などでもご利用下さい。

まとめ買い 定価にて10万円分以上をまとめてご注文いただくと30%引きにさせていただきます。



くわしくはお問い合わせください。

あむあむおっぴは ここでも買えます

BACKEREI BIOBROT(ベッカライ・ビオブロット) 兵庫県芦屋市宮塚町14-14-101
公益財団法人 聖パルナバ病院 大阪府大阪市天王寺区細工谷1-3-18

単品、10個パックのご購入は
ホームページからの申込が便利です。

あむあむおっぴ 1個 2,000円
ミニおっぴ 1個 1,200円

送料500円をご負担いただいております。

毛糸のおっぴプロジェクト

検索

TEL 022-772-5960 FAX 022-772-5961

Mail tomo@tomo-j.jp

お支払方法

<銀行振込の場合>

七十七銀行 向陽台支店(普通) 5367638

口座名: 毛糸のおっぴプロジェクト 代表 北原郁恵

<郵便振替の場合>

郵便局備え付けの「払込取扱票」(郵便振替用紙・青色)か、
当方で配布中の印刷済み振替用紙(青色)をご利用下さい。

口座記号 - 口座番号 02280-4-134233

加入者名 毛糸のおっぴプロジェクト